

## 海のパンダ！？

### 鹿児島大学総合研究博物館の研究チームが日本とフィリピンに生息する チョウチョウオ科魚類の新種を発見、パンダゲンロクダイと命名

---

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。この度、下記について研究成果の発表をご案内しますので、取材方よろしくお願いたします。

鹿児島大学総合研究博物館の研究チームはゲンロクダイ属魚類の日本とフィリピンに生息する新種を発見しました。本新種は熱帯から亜熱帯海域のサンゴ礁や岩礁に生息し、観賞魚としても人気が高いチョウチョウオの仲間です。

本新種は体長 10 cm 弱の小型種で、吻が短いことや白地の体に黒色の横帯があるのが特徴です。水深 40～160 m の海底付近に多くの場合ペアで生息しています。日本からは伊豆半島、鹿児島湾、東シナ海、フィリピン・パナイ島から記録されました。

本新種は日本魚類学会が発行する英文誌 Ichthyological Research (イクチオロジカル・リサーチ) 電子版で 2020 年 2 月 13 日に出版され、白黒の模様因みに、新標準和名としてパンダゲンロクダイと命名されました。また、学名は鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの原口百合子氏に献名し、*Roa haraguchiae* (ロア・ハラグチエ) と命名されました(女性人名のラテン語化により語尾に ae がつく)。鹿児島大学総合研究博物館はアジアでも最も充実した所蔵標本の質と量を誇り、インド・太平洋における魚類分類学の分野では国際的な研究拠点となっています。原口氏はこの世界有数の魚類コレクション構築に 15 年間にわたって協力して下さいました。

パンダゲンロクダイは日本から 7 個体が採集されていますが、すべて鹿児島大学総合研究博物館に学術標本として所蔵されています。まだ生態的な知見は乏しいですが、鹿児島湾では桜島沖の水深 40～70 m に生息することが確認されています。

Uejo, T., H. Senou and H. Motomura. 2020. *Roa haraguchiae*, a new species of butterflyfish (Teleostei: Perciformes: Chaetodontidae) from Japan and the Philippines. *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-020-00735-9

#### 【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>

---

---

写真



パンダゲンロクダイ *Roa haraguchiae*

---

**【問い合わせ先】**

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授  
本村 浩之（モトムラ ヒロユキ）  
〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

